

第34回世論調査 自由意見「広報広聴」について

「広報ふじ」について

- 毎回楽しく読んでいます。(12件)
- 広報ふじの発行は月1回でよい。(7件)
- 広報ふじの配布が遅い。(4件)
- いつも感謝しています。(3件)
- 現状でよいと思います。十分満足しています。(3件)
- 広報活動を進めてください。(2件)
- 今はあらゆる情報があふれている。知りたいこと・見たいことは、こちらから何とでもなる時代。広報ふじなど年に2、3部で十分ではないか。ここにかかる人件費などの税金もむだになっていることが多々あるのではないか。私共は健康で、障害者やお年寄りの一人暮らしのことはよくわからないが、もっともっと福祉の必要な人への配慮、弱い立場の人々、老人などの生活の充実のために、少しでも多くの税金を回してほしい。私どもは、家族全員が働いて高額な税金を納めている。ならば、そういう人たちのためになるように使ってほしい。よろしくお願ひしたい。
- ことしの3月に、市内で引っ越しをしました。前に住んでいたところでは、全く市の情報が入ってこず、疎外感がありました。広報ふじもなかったのも、とても不便でした。今、住んでいる場所は、もちろん広報ふじもあるし、ごみの捨て方などわかるのですが、一部、私たちが以前住んでいたような場所がほかにもあるのではないかと思います。もっと、住みやすくするためには、やはりその「市」の情報を把握できないと、つまらない街になってしまうと思います。ほかの街から引っ越しをしてきた人たちのためにも、市の情報をわかりやすく提供してほしいと思います。IT社会と騒ぎがありますが、まだそんなにパソコンを持っている人が多いとは思えません。持っている人が多いとしても使えない年代があるので、将来はパソコンのみの情報社会にはならないでほしいと思います。
- 広報ふじは、市政と市民をつなぐものとして大切なものだと思いますし、内容も充実していて編集についての意見はありませんが、配布作業の観点から、回数と頁数を減らしていただけたらと思います。全市共通とは思いませんが、私共の地区では、戸数の増加で各班の規模が30戸平均となっており、10班程が混在し、隣が同じ班でなく、しかも間に他区の家もある状況です。広報の配布は、順番に1冊ずつ取って次の家へ(同班の)渡しますが、先ほど記しましたように飛び飛びで、しかもそのほかの配布物も一緒ですので、重さが1キロを超えることもあります。班の整理の声も10年来ありますが絶望的で、広報ふじを始め市方面からの配布物に頭を悩ませています。以上の点から、1冊20グラム以下月1回程度とし、議会・警察などそのほか中へ入れ、かすかに入った知らせ(必要な人は電話で聞く)は、極力要点のみで略されたらと思います。
- ひと目でわかる広報ふじのファイルをつくってください。
- 富士市のホームページがあることは知っていましたが、見たことはありません。広報ふじはよく読んでいますので、だいたい知りたいことはわかります。子どもがまだ学校なので、学校関連の記事もほしいと思います。
- 広報ふじで防犯安全対策についての記事を載せていただきたい。各地区で発生している児童に対する犯罪がふえている中、広報での注意や呼びかけが大切ではないでしょうか。犯罪を少しでもなくすための努力を、市が行っていくべき時代ではないでしょうか。
- 特集記事などは、子ども(6歳)が興味を持つと読むようにせがまれます(古墳は興味を持ち読まされました)。なので、子どもが興味を持てるようなものはよいと思います。私的には、今のままだでも十分満足しています。
- 古墳や催し物などの写真をカラーにしたら、広報ふじが一層引き立つのではないのでしょうか。
- 市の行事などに参加してみたいです。富士市民のために、役立つことがないかと探しています。とにかく、いろいろ知り、やってみたいです。
- 日ごろ、地域活動の指針としても、行事日程などの広報紙として活用させていただいています。富士市内各地域においても、規模の大小を問わず、さまざまな市民の善意によるボランティア活動が行われています。編集の人々も多忙なことは理解できますが、そういうものに

光を当てて広く市民にPRし、明るい富士市・安全な富士市を実現するための広報・広聴活動の「要」としての発展を期待します。

- 年々魅力ある(色彩・文字・内容) 広報ふじを、毎号熟読しています。見やすく・わかりやすい、満点の作品と思っています。品格のレベルも最高だと思います。今後も、楽しみに読ませていただきます。
- 今は子育て中なので、市で行っている子育て支援の情報や行事など、今以上に情報がたくさんあるとありがたいです。
- インターネットの時代がますます盛んになっていくと思いますが、広報ふじはこれからも、ずっと続けて発行していただきたいと思っています。
- いつも広報ふじは見させていただいています。昔に比べたらカラーになり、とても見やすくなったと思います。ただ、やはりもっと工夫が必要だと思います。お年寄りから若者まで見るものなので、わかりやすくすることが一番ですよね。例えば、暮らしのたよりのお知らせは、わかりやすく種類別に分けるとか、アイコンをつけてほしい。赤ちゃんや子どもの情報は「これ」といったマークを決めて、ママが探しやすくしてほしい。市からののお知らせは無料で参加できるので、聞き逃したり見逃したりすると残念です。ことしの5月5日号の広報ふじの裏表紙は、富士市写真館の給食のものでした。でもこのページに、8ページの富士まつりの記事を書いたほうがよかったと思います。富士市の一番のイベントである、富士まつりはもっとたくさん記事にして、お祭りを楽しみにしてワクワク期待するようになったらと思います。事後の記事より、その前に特集してほしい。お祭りの詳しいマップや見どころ、タイムスケジュールなど。
- 今まで広報ふじには、あまり目を通したことがなかったのですが、1年ほど前からアパート暮らしをするようになり、目を通すようになりました。私がいつも見るのは、講座・教室参加者募集です。以前、料理教室に参加したことがあり、参加したから体験できたことや出会った人がいて、とても自分のためになりました。そのきっかけを与えてくれる情報が、広報ふじに載っていますね。素晴らしいことだと思います。今回このようなアンケートを受けて、今まで以上に市のことや、広報ふじに載せられているさまざまなことに、改めて目を通してみたいと思いました。今まで、自分の意見を伝えようとしたことがありませんでしたが、この機会に一つ意見させてください。以前、広報ふじの催し物のお知らせなどのページで、フリーマーケット参加者募集が載っていたので参加希望のはがきを出しました。ですが、いつまでたっても連絡がなく、日時は過ぎました。そのような、いい加減な人のお知らせなどを載せられては読む人にとって大変迷惑なので、やめていただきたいです。
- 広報ふじでは一市民として、また、一番身近な市内の情報源として、一通り目を通して見ます。暮らしのたよりは、文字がもう少し大きくてありがたいと思います。多方面(地域)に渡って情報とともに写真も写し出されて、身近に感じられます。また、市政・事件も大事なこととして注意深く読んでいます。編集者による詳しい解説なども、感謝して読んでいます。旧市民センター跡地に、早く図書館・中小ホールなどが建たないものかと期待大です。
- 広報ふじは必ず目を通して見ます。読み終わった後も、目の届くところに置いています。それは病気になったとき、当番医を見るためです。できれば休日当直医の記載を、最後のページでサッと見える所があればよいと思いました。なお、付け加えさせていただきますと、字体が黒い方が見やすいと思います。字体が白では読みにくい(見えにくい)です。
- きめ細かな広報ふじで、市内のできごとや催し物がよくわかります。毎号の配布を楽しみにしています。
- 市が進める地域活性化などの情報を、一般市民にも伝わるようにしてください。
- 暮らしのたよりに、講座・教室お知らせ、個人参加公共施設見学など、市民生活に必要な事柄が丁寧にわかりやすいので、見るようにしています。すごく勉強になります。ありがとうございます。
- いつも配布される広報ふじなどを、当たり前のように見ていましたが、今回の調査票に記入しながら、これらに携わる多くの人々の苦勞を感じました。これからも、いろいろな人が読みたい・見たいと興味をもてるようなものをつくってください。
- 役所物でなく、一般に開放した方法を。例えば、編集を学生・町内会などに任せて、興味を持たせたら。もちろん、指導は市で行う。
- 区長で自分が広報紙を配布する手前、一応目を通して見ますが、盛りだくさんになると雑な見方になるし、内容が少ないと広報紙の役をなさないと思います。一流新聞の見出しなどは、大変編集がうまいと思います。つまり、見出しがよく目立って、興味がある記事や読者に読ませたい記事に自然に目が行きます。あまりにぎやか過ぎると、かえって目立たなくなる

傾向があると思います。記事を探すこともあります。何度も何度も見直して、やっと見つけることもあります。以前、上下水道料金値上げの広報紙を読んだときに、感じたことがあります。富士市の水道水は大変美味しいと思います。その一方、沼川にしろ和田川にしろ、市内を流れる川や港の汚いこと。市民憲章には富士山が挙げられますが、市内の川や港・海岸をもっときれいにするよう、市民をあげて取り組めるような、市民啓発的な広報活動が必要だと思います。

- 市の活動・事業・地元の産業会社・ボランティアグループ・教育活動など、知っていれば活用（利用）できる、あるいは理解できることが数多くあると思いますが、広報ふじやウェブサイトだけではわかりにくく、要望や相談があっても、いつどこでどういう形ですればいいのかわかりません。もっと広報が伝わりやすいように、例えば広報ふじは町内会を通じてだけでなく、希望すれば違う手段でも手に入るようにしてもらえると、ファクスなどで教えてもらえるなど、考えてほしいです。
- 広報ふじのことにしましては、特に要望はありません。いつも、今度は何が書いてあるのか楽しみにしています。いろいろと行事など掲載されて楽しいですよ。これからも頑張ってください。
- 私たちは子どももなく、2人とも60歳を過ぎました。そのための広報ふじ・情報があれば、ありがたいと思います。
- ページ数が足りないためか、一部ページの字が小さくて見づらい場合があります。ページ数をふやすか発行回数をふやして、字をあまり小さくしないでいただきたいと感じています。発行回数は月2回ということで、このままでもよいのかなとは感じますが、休日当直医のスペースをもう少し広げて字を大きくし、見やすくしていただきたいと思います。
- 広報紙は町内会を通じて配ることは反対です。回覧の回数がふえて負担です。回覧の回数を減らすよう努力してください。
- 子どもからお年寄りまで読める、楽しい広報であるといいですね。写真は、自分の知っている人や地域が載るとうれしいです。富士市は広いです。知らない地域・歴史、また、自分の住むところの歴史には興味があります。数多くある小・中・高校のことも（昔から現在まで）、もし載ったらうれしいです。
- 自分には広報ふじが情報です。
- 富士市活性化のために私のふるさとである名古屋市に近づくような、いろいろな面で活気ある広報ふじづくりをしてください。
- 魅力ある行事・市政があれば興味がわき、自然と広報ふじを見ます。また、意見も多くなると思います。市民の立場に立った考えを持って広報広聴活動をし、公平な市政をお願いします。
- パソコンが家にないため、広報紙は情報手段として欠かさず目を通し、目にとまった箇所は切抜きして手帳に挟んでおきます。情報をたくさんください。さわりだけでなく、もっと突っ込んだ記事を望みます。その方が、かたくなってためになるから。
- 広報ふじが、月に2回発行されていたことも気付かなかったほどで、発行にかかわっている人々のことを思うと、本当に申し訳ない気持ちです。興味のあることも個人差があると思うので難しいですが、魅力ある紙面にしてほしいです。
- 全体的に記事がつまらない。課の催し欄が多く、それしかしていないように思える。町村の広報紙の方が、住民に親しみやすい。
- 広報ふじは、すごくよくできている。見やすいのが一番です。毎回デザインも変化させているし、同じようで同じじゃない工夫もあってすごい。うまくつくっているなあと感心しています。カレンダーも同じです。すごく大変な作業だと思います。頑張っているなと感心しています。来年は何にするかなど、題材を考えるのも大変でしょう。楽しみにしています。「富士市」らしいです。頑張ってください。
- ときどき、広報ふじを拝見させていただいています。広報ふじを作成している皆さん、大変と思います。頑張ってください。市政のことは、見ても興味がありませんのでわかりません。ですが、子どもたちが少しでも安心して通学し、暮らしていける富士市になっていける場所になるよう願っています。子どもたちの笑顔はとても素晴らしいからです。できれば子どもたちの笑顔を絶やさない、富士市になっていただけたらと思います。
- 魚・木など紹介するとき、漢字を多く使用してふりがなをふるようにしてほしい。今はカタカナが多過ぎると思う。子どもたちには、漢字になれてほしい。
- 広報ふじは、全世帯に配布しなくても、お知らせの内容によっては、回覧文書で回す方が注

意を引きやすく、また、紙の節約になるのではないか。表紙のカラー印刷が粗く感じられる。以前の白黒印刷の方が、写真がきれいに見えたようにも思う。紙質やインクのせいかも知れないが、なにも毎号表紙をカラーにしなくてもよいのではないか。

- 毎回、楽しみにしています。いろいろな世代のことや、ジャンルのことを知ることができ楽しいです。ときに、もっと深く詳しく記載してくれたらよいのにと感じることもしばしばあります。ページ数の事情などから、現状が精一杯なのかなとも思いますが、どうせ発行するのなら、もっと市民も参加してのページづくりがされるとよいと思います。今後も、楽しみに拝見させていただきます。
- 子どもができるまではあまり興味がなかったのですが、今は子どもの行事や情報を見るようになりました。これからも、1・2歳の小さい子どもでも、もっとたくさん気軽に参加できるような、イベント情報を楽しみにしています。また、市役所の人への対応が人によって、とても嫌な感じの人がいます。そういう人がいると全体的なイメージが悪くなり、広報ふじも市でつくっているものだからということで、イメージダウンになっているケースもあるようです。広報ふじだけでなく、ほかからの見直しも考えてみてはどうでしょうか（もちろん、とても感じのよい人もいて、話しやすく気持ちよく帰って来られるときもあります）。
- いつも楽しみに待っています。もっと昭和の初期のことがあるといいと思います。まちかどネットワークも楽しみです。
- 近年いろいろな場所、または新聞・テレビ・広報も横文字が多いので、私のような年齢の者には、何だかわからないのが多いです。ウェブサイトとは何ですか。
- 他県出身者として、昔話や古い風景写真は、富士市の歴史の勉強にもなります。ますます充実した広報紙をお願いします。
- さまざまな情報が、広報ふじに取り上げられているので見るのによい。
- 身近な防災マニュアル情報・日々の心得・準備する物を、市民としてもっともっと勉強させていただける資料が欲しい。地域の状況・地域の流れ・生活状況を知りたい。東海地震が騒がれている今、防災訓練のとき、町内会で避難場所に集合して放水とか人数報告・点検だけでなく、もっと救済のための訓練とか情報伝達とかをやってほしい。もっともっと広報ふじで取り上げてほしい。よろしくお願いします。
- 中央図書館・広報広聴のアンケート調査の結果を、広報ふじに掲載していただきたいと思えます。よろしくお願ひ致します。
- 広報ふじなど、富士市は非常に充実している。世の中がさま変わりしたと思う私たち50歳代が大切にしてきたことは、若者との間に今、大きなギャップを生んでいる。確かに情報は、私たちの生活を豊かにしてきた反面、人と人とのかわりについてはどうだろうか。私は「Face to Face」が大切な時代になってきていると感じながら、富士市の広報広聴活動が何らかの形でFace to Faceにかかわってほしいと願っている。
- 私は元吉原地区の社会奉仕団体で、元吉原レンダークラブと申しますが、年2回（6月と11月）の献血活動を実施しています。このところ数年と思いますが、広報ふじに掲載されていません。これには何か理由があるのですか。できれば広報を希望します。
- 結婚する前は全く見ませんでした。今は結婚し、子どもができて仕事を辞めたので家に居ることが多く、時間があるのでよく読むようになりました。やはり、子ども関係の記事によく注目したり、地域のできごとや催し物を見たりします。夫は全く見ません。パソコンをやるので、知りたいことやわからないことなどは、パソコンを使って調べるようです。
- 広報ふじは、字の大きさが見やすくよいと思います。
- 広報ふじに載せている毎月の休日医療担当の病院を、もっと早目に掲載してほしい。配布されているときには、第1週が過ぎてしまっているときがある。
- 広報ふじで「暮らしのたより」の部分が、左側より始まっているので読みにくい。
- 行政だからということにとらわれず、砕けたところもあるような内容にしてほしい。
- 毎日・毎回、広報を楽しく見させていただいています。私は今、子ども2人の子育て真っ最中です。年子の2人を連れて、楽しく安全でお金のかからない施設、広場、遊び場などありましたら、情報として載せていただくと大変うれしく思います。トイレ・水道・駐車場が完備されていると助かります。
- これからは、皆さんの心を込めてつくられる広報紙を、十分に心して読ませていただきます。どうぞ頑張ってください。
- 富士市の広報は、インターネットに頼らずあらゆる手段を使って、ほかに宣伝発信をする必要があると思います。

- 広報ふじは、毎回楽しみに読んでいます。富士市民がつくっている運動チーム・音楽チーム・ダンスチーム・その他いろいろなチームがあると思います。若い年齢から高齢者まで、そのチームの特集を毎掲載させていただき、富士市民にスポーツや文化をもっと身近に感じてもらい、参加できるとか参加してみたいという意欲を持ってもらえれば、心身ともに活性化すると思います。
- 広報ふじは、あまり必要としていません。私の知人たちも月2回は多く、なくてもよいという人が多い。特に高齢者は読むというよりは、見ればよい方ではないでしょうか。必要なことは回覧板で回した方が、しっかり読むと思います。いろいろな面で経費節減して、中央病院の有料駐車場を、何とか無料にする方法を考えてもらいたいと思います。
- 広報ふじについて、町内会を通じて配布しているとありますが、届いていないのでわからない(マンション)。
- 最近の広報ふじに、犬の飼い方(マナー)などが詳細に説明してありましたが、私の近所でも道路に面したところにつないであり、人が通るたびに大きな声でひっきりなしに鳴いたり吠えている。私の隣の人も「まったく、うるさい」と言っているが、直接飼い主に苦情を言うと、わだかまりができるのでみんな控えている。後々の付き合いもあるので、結局我慢してしまう。広報ふじを読まない人もいるので、飼うマナーについて3点くらい大きく書いて、町内会を通して回覧にしてもらえれば目に付くので、効果があるのではと思います。ペットの苦情は多いと思いますので、広報ふじや同報無線などでときどき注意してもらいたいと思います。
- これからも、ますますの発展を心待ちにしています。富士の人たちがもっとゆとりを持って、拝読することを願います。やはり写真が多い方が、見やすいと思います。
- 市民にとってこれは特に大事な話題であるという記事は、インパクトを強く表示されてもいいと思う。
- 若い人に進んで読まれる広報ふじを、つくってもらいたいと思う。
- 富士市で行われるイベント・行事などの情報を見落としがちなので、おすすめの情報などはカラーにするなどすると、よいのではないのでしょうか。富士市のおすすめスポットや、今人気のお店などの情報もおもしろいと思います。
- 現在の広報ふじに満足しています。ただ、文字が白い場合の箇所、そのほか大きさに気を使っただけだと、ありがたいと思うときがあります。子育て期間にある人たちへのお役立て記事情報が、もう少しあってもよいように思います。
- 私自身は、広報ふじを毎回楽しみにしています。できれば、発行回数をふやしてください。
- 広報ふじを配布していただいています。忙しい家庭は、ほとんど読まないに耳にします。どこの家庭でも読みたくなるような、楽しい企画をお願いしたいと思います。無理な願いと思いますが。
- 近づきつつある東海地震に備え、毎回専用コーナーを設けて、役立つ情報を伝えてほしい。例えば、地域ごとの避難場所を紹介するなど。一口メモ的なこと。
- 富士市そのものについて、県外から来た人にもわかりやすく紹介するように努めてください。いつもありがとうございます。頑張ってください。
- 広報ふじは、市政・行事ともにわかりやすく、非常によいと思います。市民暮らしのカレンダーは、月々の催し物・月々の納税などがよくわかって、とてもよいと思います。毎年、楽しみにしています。
- 広報紙などで広く呼びかけ、活動の場をつくっていくとよいと思います。紙面に載せただけでは、なかなか実行できないものです。行政も生ごみを活かし考える会を、つくってはいかがですか。
- 世界的に、地球環境問題がクローズアップされている昨今、地方自治体としてできる事業に力を注いでほしい。例えば、下水道の整備事業をもっと急ぎ、整備率100%を実現し、「公害のまち富士」のレッテルをはがし、富士市に住んでいることを誇りに思えるようなまちづくりをしていただきたい。整備状況について、もっと紙面を割いていただきたい。
- 身近な問題を取り上げていて、なかなか興味深いものです。これからも頑張ってください。
- これからも市民の生活に密着した、広報紙づくりを頑張ってください。富士市民でよかったと思えるような、サービス・情報提供をしてほしいと思います。
- 広報ふじは、興味がある記事や自分に関係するお知らせは見ますが、広聴に関しては全くわかりません。
- 障害のある子どもがいます。障害児の「放課後児童クラブ」の数が少ないので、そのような施設の必要性などを取り上げてほしいです。また、この子たちの就職もとても困難ですか

ら、こちらも取り上げてほしいです。

- 広報ふじ、楽しみにしています。どんなものでも、形になるまでは大変です。今後も頑張ってください。
- みんなが見るように「見ないと損する」と思わせるような情報(定時版)を載せる。
- 富士市の動き・情報を見て、自分でも参加できる催しはないか、いつも楽しみに「広報ふじ」に目を通して見ます。表紙がカラーになってからは、以前より目を引きます。暮らしのたより、お知らせや募集欄の見出し部分を枠で囲むか、2色刷りの色を明るいオレンジでも、見やすく目の引く色ではっきりさせたりすると、よりよいものになると思います(対象者をマークにしてみやすくする。インデックスマークを付けるなどして)。今後とも親しみあふれる情報をわかりやすく、よりよいものにするため頑張ってください。楽しみにしています。市長への手紙の活動は、とてもよいことだと思います。また、対応も早く、市民の声を大事にいただけていると感じます。お忙しい中、それぞれの意見をまとめ反映していくことは大変なことではありますが、これからも頑張ってください。
- 文章を書く場合には、もう少し簡単な文章にしてほしいところがある。ときどき、漢字が読めないときがあるので、ひらがながふりがなをしてほしい。
- 広報ふじに、市役所のそれぞれの部署の役割と、「〇〇については〇〇課」のような、チャートを一覧にして載せてください。細かく知りたいので何回かに分けてでも、保存版としてシリーズ化していただきたい。
- 私は広報ふじを、1年間とじて大切にしております。捨てたことは一度もありません。何かあるときは、出して読んでいます。
- いつもさまざまな情報を伝えていただき、ありがとうございます。富士市内にこういうことが行われているのかと、新たな発見をするときがあります。
- 毎回、地区別に特集みたいなものを作ったらどうですか。今まで住んでいても、知らなかったこととかがたくさんあると思います(今月はことか、月がわり・週がわりなどに)。子どもがいる人向けに、この地区にはこんな公園があるとか、施設があるとか教えていただけると、私たちのような子どもを育てている人たちが、休みの日に気楽に遊びに行けるとと思います(わざわざ遠出しなくても)。
- 広報ふじは、見やすく毎月楽しみにしています。カラーにしたり、絵や写真をふやしたりするとかえって見づらくなるので、現状のままだいいです。富士市に来て2年ですが、少々住みにくい街だと思っています。富士山を背景に抱えているわりには、景観が悪くごみが多かったり、マナーが悪かったり、工場の煙突の煙も気になります。あっても意味のない狭い歩道も、子どもや老後を考えると心配です。ぜひ緑をふやしたり、覚せい剤や麻薬の撲滅やマナー向上、環境整備など、子どもや老人に優しいきれいなまちづくりを、もっと呼びかけてほしいです。
- 富士に住んで20年弱です。いまだに、においには慣れません。そういうものをチェックする、何かがあるのかを知りたいと思ったが、広報ふじにはそのようなものが載っていないように思う。自分の関係する仕事柄、製紙のにおいが「不快だ」と声を大にして言えないことがつらい。例えば、公害についての苦情が、〇月〇件とかが出ているとよいと思う(自分と同じように感じている人もいるのかと安心するし、また自分も環境をよくするために言わなければならないときは、声を出そうと思う)。
- 広報紙を毎回楽しみに見っていますが、家に届くのが遅いときがあります。地域によって各家庭に問題があり、何日もためているということのようです。できれば、班長に直接届けていただけたらいいなと思います。食に関すること、季節による見どころなど、もっとページ数をふやしてほしいです。これからも楽しみにしていますので、よろしく願います。
- 生活する上でルールやマナーを守り、暮らしやすくしたいものです。広報ふじでルール・マナーを知らせてくれてはいますが、読んでいなかったり無視したりではよくなりません。個人の意識の問題ですが、広報ふじに載せるだけでは住人に伝わるかわかりません。私も含め、小さいことでも常識が少しずつ違いますが、広報ふじを読んで、人に迷惑をかけないよう心がけたいです。簡単なこともわかりきっていることも、広報ふじに載せてほしいです。
- 私は老人なので、難しい英語やローマ字はわかりません(ウェブサイト)。もう少し一般の人にわかりやすい言葉で(日本語)お願いできればよいと思います。
- これからも頑張って、より親しみやすい情報を提供してください。期待しています。
- 広報ふじにて市政などの情報は入手できますが、市民の声に耳を傾けて、よりよい広報ふじの充実した紙面になりますようお願いしています。

- いろんな話題を載せていただき、中には興味深いものもあります。講座などに参加したいと思って多少勇気がいるので、連絡するにも戸惑ってしまいます(電話とか苦手なので)。私個人の問題なので、解決策や改善を要求するつもりはありませんが、気軽に行けたり連絡できるようになればいいなと思いました。
- 広報ふじは、文字が小さくて読みづらい。新聞の半分くらいの大きさにしてはどうでしょうか。
- 「こちら編集室」を、毎回楽しみにしています。頑張ってください。
- あちらこちらで地震が起きて、不安に思う毎日です。地震のQ&Aみたいな、記事を読みたいなと思います。
- 住んでいても、なかなか知らないことだらけですが、大切な情報源である広報ふじですので、いつも本当に楽しみにしています。これからも、もっとたくさん富士市のよいところを教えてください、楽しい毎日を送りたいと思っていますので頑張ってください。
- 他地域から引っ越してきた人は、その地域に関する情報があまりわかりません。特集か何かで、地域のお得情報を教えていただけるとうれしいです。
- もっと市民が参加できる記事を、たくさん載せてほしい。
- 広報ふじは、毎回班長が配布してくれます。しかし、いつも読まずじまいです。なくした方が、税金を使わなくてよいのではないかと思います。なぜ見ないのかは、子どもも大きく、頼る必要がなく、献血も曜日と場所は決まっているし、ライオンズクラブからはハガキがくるので、知りたい情報がないのかもしれないかもしれません。ただつくり配るだけでなく、もっと必要性をアピールしないのなら、ない方がよいと思います。税金は高いのです。有効に使ってほしいです。
- 障害者にもわかりやすい、情報を知らせてほしいです。
- 公民館に出かけたときなどに、チラシを閲覧してきます。興味のあるものは一部持ち帰り、考えて参加や応募に申し込んだりしています。広報ふじにも記載されていたかわからないときは、そのような感じで私は情報を取り入れています。ふだん、家に閉じこもりがちな人は広報ふじをよく読んで、活用されたらよいなあと思います。子どもからお年寄りまで、富士市民が「広報ふじに載っていたよ」と、今よりも大勢の人に読んでもらえたらと願っています。子どもコーナーが(ふりがなつきで楽しめるコーナー)などがあると、目を通すかもしれないなど今ふと思いました。昔話でもイベントでも、公園や遊ぶ場所のおすすめスポットなど。
- 民間の新聞を通じての広報活動の方が、もっと効率が上がるのではないのでしょうか。
- 高齢社会なので、施設・病院などの情報・報告などの紹介も、取り上げてはどうでしょうか。施設などはいっぱい、入れないお年寄りがたくさんいます。なにか世の中、矛盾しているように思えてなりません。
- 大変ですが、少しでも多くの市内のできごとをお知らせください。
- 広報ふじは、毎月しっかりと読ませていただいています。情報源の少ない高齢者にとっては、大いに助かっています。見落としもあるとは思いますが、「人間ドック」などの情報を、できるだけ多く載せてほしいです。仕事をしていたときは即、知る機会が多かったのですが、退職後はなかなか入ってこないのです。情報源は広報ふじだけです、よろしく願います(1日人間ドック・脳ドックなど)。
- 市営住宅・老人ホームの情報など載せてほしい。
- 現在77歳です。わざわざ図書館まで行って本を読む気にはならないが、広報ふじや議会だよりはいつも読んでいます。合併問題など、市からの情報が少ないと思う。
- 広報ふじは楽しみに見ていましたが、深く考えてはいませんでした。もっと富士市のことについて、勉強したいと思います。
- 今まで広報紙を読むことがなかったが、今後は少しでも目を通してみようと思った。
- 我が家は、前年まで班長だったらしく(私は手伝いませんでしたが)、市役所からの配布物が多過ぎると母がこぼしているのを聞き、広報ふじは回数を減らしてその分紙面を充実させ、財源を別のところに回したらいかかと思いました。富士市の人口の何割が、利用しているかが疑問です。または、もっと深く内容を掘り下げ、子育ての問題を特集するとか、このような支援がありますとPRし、他の市なども例にしてみんなに知らせる。介護やごみの問題もほかの施設と比較したり、よいところがあればPRしたい。もう少しインパクトがあって魅力ある内容(広報ふじなので難しいと思いますが)を、思い切ってぶつけてみたらどうでしょうか。今まであまり読んだことがありませんでしたが、これからは注目して読みます。
- 難しい文章だと、見たり読んだりすることをやめてしまうので、もう少し易しい表現にしてもらえれば、若い人たちも興味を持つかもしれませんね。
- 広報ふじは必要です。市の行事を載せていただき役立っています。フリーマーケットなどの

情報もお願いします。

- 最近、インターネットを使いこなせる人たちも多くなっているのだから、その分野に力を入れることは、若い人にも市政に目を向けるきっかけになるからよいと思います。一方、私を含め一般的にインターネットを使えなく、機械に弱いと思っている人や高齢者も、文字を読むことにはやぶさかではないから、今から高齢社会になることでもあり、この機会に弱者層の人が社会においていられないように、広報ふじのような形で新たな(年寄り向けの)定期配布物をつくってもらえればよいと思います。
- 広報ふじが、カラー印刷のページが多くなりいいなと思う反面、こういうところにどれだけの税金を使っているのかなと考えてしまう。広報ふじで「かぐや姫」「茶娘」を募集しているが、賞品が年々よくなっている(豪華過ぎる)。優勝者などの特定の人に、税金が使われるのはよくないと思います。派手な広報で募集しなければ成立しないコンテストは、廃止した方がよいと思います。税金は、使うべきところに使ってほしい。
- 広報ふじは不要。必要な人にだけ配布する方法を考えてはどうか。これだけのために回覧は迷惑。
- 私の子どもは障害を持っています。また、私も体があまり丈夫ではなく、現在市外の病院に通院をしています。子どもの将来のことをとても心配しています。もっとわかりやすい、開かれた福祉の場を求めています。親の意見・不安をもっと話せる場、また情報を得ていくことを希望しています。広報ふじなどでも、ぜひ福祉の面での紙面を設けてください。
- 子どもでも読めるような、広報ふじもあるといいと思う。行事の参加、親子で取り組めることがしたい(例:よさこい)。富士市を盛り上げたい。
- 広報ふじが、以前に比べて写真や明るい紙面になったので、見てみようかなと思うことが多くなった。もっと、催し物や簡単な料理の作り方を紹介してもらえるといいと思う。

広聴活動について

- 市長への手紙を出して「回答は必要ない」に○をしたところ、数日経って「今後の参考にします」というあいさつ状が届きました。必要ありません。郵便代が税金のむだだから。
- 市役所・市政に対する意見など、もっと言いやすい雰囲気をつくってもらいたい。広報ふじに、市に対する意見、それに対する回答をすべて載せてほしい。
- 市長への手紙に、何回か投書しております。20年ほど前に、旧中央病院の待合室の禁煙のときは、すぐに禁煙コーナーをつくっていただきました。それから、地域の道路のカーブミラー設置など。でも年を追うごとに、予算の関係かなかなか取り組んでもらえず、先日近所の人も同様なことを言っていました。最近、お願いを再度出しています。どのような形の回答が出るか、楽しみにしています。富士宮市は市長交代により、さらに文化的な街の取り組みに力を入れていると聞いています。富士市は変化・新しいまちづくりが、市民に伝わってきていないとよく耳にします。市民に市長の顔が見えません。
- 広報紙はよく読んでるので、もっといろいろな情報を知ることができるとうれしいです。広聴については、意見や要望を伝えたことがないのでよくわかりません。直接、返事をもらえることはよいかもしれませんが、私は相談する勇気もなければ、「そんなことを」と思われるような気がして、直接は伝えづらいです。だから、世論調査やアンケートの方が、気楽でいいような気もします。
- 問17に広聴活動についてとありましたが、市に意見しても耳を傾けてもらえるか不信感がある。意見を聞いても、返事をしてもらえるのでしょうか。聞きっぱなしのこのの方が、多いのではないのでしょうか(あまり期待はしてないです)。
- 進んで市民が参加したくなるような、またできるように。
- 皆さん(市民)それぞれ自分の生活のことでいっぱい、なかなか市政に対して考えたりかかわったりすることがないと思います。具体的に必要が生じたときに、初めてかわる(調べ・問い合わせ)ことになると思います。広報ふじやホームページで「○○で困ったとき、○○を知りたいときは△△へ」というような、案内をさらに充実していただけたら幸いです。市の職員の皆さん、ご苦労さまです。
- 市長への要望・お願いなどのファクス用紙・はがきを、月1回広報ふじに入れていただくと助かります。気がついたことがあってもすぐ忘れてしまい、なかなか伝えるまでにいきません。町内会だけでは、解決していただけないことも多くありますので、直接伝え、聞いてほしいと思います。

- 市民法律相談について。以前、法律相談を二度ほど受けましたが、相談に行ってもよかったですと思ったことは一度もありませんでした。確かに、弁護士の先生の言葉ですから間違っていないでしょうが、何の解決策もなく不信感を持って帰ってきました。もう、三度目は行きたくありません。やはり、お金を払わなければだめなのですね。そう思ってしまいました。何のために、時間を費やして行ったのかわかりませんでした。
- 市民の声を聞いて、その答えが聞けたらいいなと思います。大きなことばかりではなく、小さなことも取り上げてほしい。
- 意見・要望をどのように処理しているのか、わかるようにしてほしい。
- 今回、初めて自分の意見を言うチャンスがあり、ありがたく思います。もっと自由に参加できるとうれしいです。
- 市長への手紙が、毎月の記載以外にもあると思いますので、年度末にでも増ページして特集の形で出させていただきたいと思います。
- 富士市は、市に意見を言うのにはどこの窓口に行けばいいかというのが、いまいよいよわかりません。また、どのような段階を経て、取り上げられるかというのわかりません。市民の意見から実現したもの、こういう理由で取り上げられなかったといった情報を、積極的に取り上げてほしいと思います。
- インターネット(パソコン)を利用する予定はない。広聴はコンパクトでシンプルにして、電話・窓口を気楽に利用できるようにしてください(問い合わせ専用の電話など)。ことし、当番で町内会の班長になりましたが、市政も町内(大きく言えば行政)も「知らしめるな」「言わしめるな」という雰囲気がある。無関心というより、無関心にさせる好都合な状態をつくっているような気がします。これも一つのパフォーマンスのような思いです。
- 市の問題点を市民よりの提案・アンケートを広報ふじに載せて、市民全体で考えるようにしたい。
- 広聴活動とは、具体的にどういうことなのかわかりづらく、困惑しています。質問にしっかり答えられずにすみません。
- 市民相談室があるのを知っていれば10年前、厚生年金窓口で死にたくなるほどの悔しい思いをしなくて済みました。それ以来、市役所は私にとって鬼門です。係の人々に人間としての気持ちが少しでもあつたらと、今でも思います。表面だけの広報ふじではなく、深いところにこんな話もあるのではないのでしょうか。
- この間、子どものことで市民相談に伺い、いろいろご親切に助言・ご指導をいただき、とても助かりました。これからも相談ごとがありましたときには、よろしく願います。
- 今回、初めて世論調査の依頼が来るまで、このような活動をしていることを全く知りませんでした。市役所の仕事に、このような市民の声を聞くことが含まれているのを知り、何となく市政が身近に感じます。富士市をより暮らしよい街にしていくには、もっと一人一人が考えなくてはいけないと思った次第です。ただ、毎日を忙しく過ごす日々の中で、ゆとりがあまりないことは確かなので、協力したくてもできないことが多いと思いますが…。広く市民の声を聞いているということが、わかったことだけでもよかったですと思っています。できることは、協力していきたいと思いました。よろしく願います。
- もっと広く市民の意見を聞くことが必要だと思う。広報に興味がない市民が多い(と勝手に思っていますが)のも、広報広聴の「広聴」が不十分なのではと思いました。例えば、税金の使い道を報じるよりも、何に使いたいかのアンケートとか(やっていたらすみません)。困っていることの集計結果など。
- 本当に市民の声が届くのか疑問です。特に、中央病院での患者の声を聞いてくれる、ボックスの中に入っている意見も、市の職員に握りつぶされることもあると聞いています。公民館の人は意見を言うと、次回からそのことについて対処して下さることもあります。
- 広報ふじを楽しく読んでいます。市長の手紙も、自由にらせることはよいことです。市民からの声を取り上げた、市政を期待しています。
- アピール(活動内容など)が足りないのでは、訳のわからないことが多過ぎる。市長相談などの日付を、カレンダーなどに載せる。土曜日・日曜日の活動。
- 相談室があるのは、市民にとってはいいことだと思いますので、充実させていただきたいと思います。
- もっと市民が、不思議に思っていることや不満に感じていることに対して、明確な返事がもらえるようになればと思う。中央病院のことなど富士ニュースなどには載っているが、みんなが取っているわけではない。医師が減ることや科がなくなるなどは、市はみんなに伝えるべき

と思う。今の状態では、病気になったときはどうするか、将来的に不安を感じる。もっと市内で、今ある状況を問題にしてほしい。

- 市民の声にもっと耳を傾け、それを広報ふじでどうしたらよいかをみんなで相談し行政へ。その窓口としての役目をしてほしいと思います。世の中の人々の声を聞いて、世の声・市民の声としてください。
- 市として「議会を見学しよう」というPRを、積極的にやってください。「来ない市民が悪い」のではなく、来られる環境をつくりましょう。例えば、市長の市政方針演説は土曜日にやり、市役所のテレビでも見られるようにするとか、議会も1日は平日17時過ぎにやってみるとか。開かれた議会・市民が身近に感じる議会が、実現することを願っています。
- 市へいろいろ要望したいことがあっても、手紙や電話だとどうしても気おくれしてしまいます。もっと簡単に、ハガキなどをコンビニなどに設置してもらえればいいのにとすることがあります（Eメールなどはお年寄りには扱えませんので）。広報ふじに、お年寄り向けの重要なお知らせが載っていても、当人は字が小さ過ぎて見過ごしてしまいます（以前、それは担当者にお話しましたが、広報ふじ以外では連絡できないと言われました。広報ふじの字を大きくしてください）。
- 「夏場混雑するマリンスプール行きのバスを、7～8月の夏休みだけでも、臨時に運行してもらいたい」以前、このような手紙を出した人が知人にいたが、結局、取り上げられることなく、返事もないままだったようだ。「市長への手紙」も、ほんの一部が取り上げられるだけで、その他多くの手紙の回答が、簡単でもよいから紙面に取り上げられないと、「出してむだ」という気持ちになってしまう。毎月、こんな手紙がありましたと簡単に紹介し、その回答をお願いしたい。1人の人に一面をさくよりも、多くの人の意見が載せられたらと思う。
- 一度、市長への手紙を出したとき、きちんと電話で返答があってよかったです。ほんのささいなことでも、こうしてほしいなあと思うことを言いたいときがあります。でも、どう言えばよいかわからない人も多いと思います。市長への手紙はよいと思います。ただ、専用のハガキがないと出さないとします。なので、スーパーや郵便局などに置いてもらえると、書きやすくなると思います。
- 市民から出された意見や要望が早い段階で討議され、よりよく・住みやすい富士市になるような、窓口になってほしいと思います。広報ふじの内容も、生活に密着したものも必要だと思われるし、今と昔の写真を掲載されたときは、一個人的ではありますが興味があります。
- もっと、若い人の意見を聞いてください。

同報無線について

- 広報（放送）の内容が、ほとんど聞き取れない。（20件）
- スピーカーで「市役所からのお知らせです」と流すのが、声が割れてしまい、いつも肝心なところが聞き取れないのですが、何とかならないのでしょうか。最悪、地震警報がよく聞こえなく、デマが流れてパニックが起きるかもしれません。スピーカーの性能の問題でしょうか。音響機器のメーカーさんなどに相談してみてください。
- チャイムの音が変わりとても素敵です。できれば毎日17時のチャイムを鳴らしてほしいと思います。
- 朝・昼・夕の放送チャイム音を、前の通りにできないか。音があまり聞こえない。場所柄もあるかもしれないが、市民がよければ前の通りでもよいのではないか。学校のチャイムと同じであまりよくない。
- 火災を知らせるときの始めのチャイムが、今までの方がわかりやすいような気がします。朝の時報は、もう少しさわやかな音楽が好ましい。

ホームページについて

- 富士市ホームページがあるのを知ってアクセスして閲覧してみました。いろいろな分野が細かく見られるのですが、お年寄りには少し文字が小さくて見づらいかも。それと、もっと気軽に意見や質問などが書き込みできればよいと思います。住所・氏名などを記入しなければならなくなると、考えてしまう人もいると思うのですが。しかし、それによって不真面目なことをする者も出てくる問題もありますが。

- インターネットの利用者がふえているので、情報が流出するように思います。重要なことだけは、インターネットを使えない人(パソコンがない人)にもわかるようにしてもらいたい。
- 問19-2を見る限りでは、興味のあるコーナーがありません。富士市には田子の浦港があり、休日になると市内外からたくさんの釣り人が集まっています。今月は何が釣れているのかを公表すれば、ホームページの利用増加につながると思います。こういった娯楽的なところからアクセスが増加すれば、自然にほかのところにも目が向くのではないのでしょうか。市民の興味がある「エサ」をまいて注目を寄せることが、鍵となってくるのではないのでしょうか。
- 一方通行ではなく、市民みずから参加できる(言いやすい)活動になることを望みます。富士市のホームページをよく開きます。子どもが参加できる行事などのお知らせがあるかな…という感覚で。いろいろな情報が載っていて素晴らしいとは思いますが、結局パソコンがないと知り得ない情報でもあるようです。どんなに情報量が多くても、お年寄り(全てではありませんが)には、届かない情報でもあると思います。私の両親は2人暮らしで、パソコンはありません。買う予定もありません。これからの広報活動に期待します。
- ホームページがあることを知らなかったのですが、このアンケートを書き終わって、ホームページを開いてみました。富士市に住んでいながら、各地区のことをよく知らない私は、観光マップや花だよりなどを見て、とても楽しかったです。お気に入りになったので、これからはときどき見たいと思いました。
- ホームページのキッズページを、子どもと一緒に楽しんで見えています。富士市の地図のもっと詳しいものを載せてもらえると、いろいろなところに行くとき助かるのですが。
- 現在、情報発信・入手の最も利用される方法は、インターネットです。今回の場合、市民にもっともっと図書館・広報の情報を知ってもらい、その情報を有効活用させるためには、ホームページの充実が一番だと思います。より一層の見やすく・相互情報交換ができるホームページへの変換をお願いします。
- インターネットはよく利用していますが、富士市のホームページは見たことがないので、一度見てみようと思いました。
- 「広報ふじ」は、町内会を通じて配布されるため情報が遅れるので、あまり内容の発展は考えにくい。ホームページなどを充実させていただきたい。富士市内の行事やフリーマーケット情報(実際に不用品を取引するなど)や、子どもたちがアクセスして楽しいページ(学校生活の紹介など)をつくるなどの工夫が、あるとよいと思います。また、防犯についての対策や犯罪情報などの情報提供を、スピーディーに反映させてはいかがでしょうか。また、商店街の衰退が顕著な昨今、市政と民間がより協力して、富士市を活性化させていくべきでは。
- ホームページから入手できる申請書(申請書のダウンロード)の数が、ほかの市町村と比べて少ないように思います。また、団塊の世代の大量退職を控え、少子高齢化も拍車がかかる時代に突入するので、特に保険・年金・介護などの分野においては、社会保険事務所や近隣の健康保険組合などと協力し合い、包括的な広報が展開されることを願います。
- スポーツ関係の結果(富士市の選手の市外での活躍など)を、ホームページなどで充実させてほしい。
- 富士市のホームページに興味があるのですが、パソコンがありません。購入するには、まだ高価過ぎます。市で貸し出してほしいのですが…。
- ウェブサイトで新しい市・市民の情報発信をして、そして市民にどのように伝わったかを、情報の反応を見てはいかがでしょうか。年1回の市民アンケートではなく、頑張ってください。

暮らしのカレンダーについて

- 市民暮らしのカレンダーは以前、小学生などの作品が載っていて、とても心温まるカレンダーだと思いました。市民参加のカレンダーは、これからも続けてほしいと思います。
- 古紙・不燃物・金属(缶)などの収集日のチラシを、カレンダーに(市民暮らしのカレンダー)記入してしまえばよいと思いますが(地域ごとに記入が大変ですが)。
- アンケートの中にもあった暮らしのカレンダーは、毎年配布しているのでしょうか。ことし初めて使いましたが、市の行事もわかりますし書き込むスペースもあり、大変使いやすいです。また、来年度もできれば同じような形をお願いします。
- 市民暮らしのカレンダーは、行事が書いてありよいと思うのですが、なにせ大き過ぎます。大きいならもっと大きく、小さいなら卓上型くらいに考えたらどうでしょうか。今の大きさが一番、中途半端な気がします。あまり利用がないのであれば、希望者のみに配布することで経

費削減になるのなら、それもよいと思います。

- 広報ふじはあまり読むところがない。カレンダーは毎年、楽しみにしています。便利、子どもさんの絵が楽しみ。いろいろと試行錯誤してよくやっていると思いました。
- カレンダーは大変使いやすいです。各地区の有名な人の紹介・長寿者紹介などお願いします。富士市の中でも、こういう立派な人がいることがわかると思います。
- 「市民暮らしのカレンダー」は、子ども(小学生)の作品だったり、市民の手作り品だったり、デザインに工夫や苦心が感じられますが、富士山や市内の写真が一番よいと思います。一年中居間に掛けておくカレンダーですので、季節感あふれる富士市の写真がふさわしいと思います。よろしくお願いします。
- 暮らしのカレンダーはいろいろわかって、とてもよいと思います。表紙がカラーで、元気な子どもたちの様子がとてもよいです。
- ことしのカレンダーは、写真作品が個人的過ぎる。団体の名はともかく、個人名はいらない。知りたければ、市に聞くか裏面で見ればよい。もっと、頑張っている団体の作品があるはず。富士の型染めとか授産所の作品とか。10年計画立ててからの写真ですか。とってつけた1~2年計画ですか。
- 意見を大切に、これからも頑張してほしい。市民暮らしのカレンダーを、毎年楽しみにしています。我が家も、もう何冊かたまり大切にしています。去年は、何月かちゃんと書いてほしいと思ったら、今年はしっかり見直されていてよかったです。2006年が楽しみです。
- 市民暮らしのカレンダーは、市の人々の絵画や工芸作品が美しい形で紹介されていて楽しみにしています。数字の部分も使いやすく助かっています。毎日の生活で、ちょっとしたことや物でアドバイスをしてくださると助かるので、これからもそういう情報をよろしくお願いします。

アンケート調査について

- もっと地域社会に対して関心を持たないといけないと、改めてアンケートを書きながら実感しました。関心を持ってもらうためにも、世論調査やアンケートも必要と思います。自分たちのまちづくりに参加している意識を育てていかなければと思います。
- このようなアンケート調査をすることはよいと思います。今、どのようなことをしようとしているのか、市民に何を求めているのか、何も知らなかった人まで少しでも考えることができるからだと思います。たとえ無作為であっても、選ばれてよかったと思っています。ありがとうございました。
- 問18に回答した通り、世論調査・アンケートの項目区分をしっかりと定め(何のために、目的・目標)、3年区切りにて積み上げ方式で実施していただきたい。
- いろんな施設や市の活動について、市民(特に利用者)の声を聞いて、そのことを意見として反映し考えてくださるのはとても素晴らしいことで、今後もいろいろな他の施設についてもアンケートなど、実施してもらえたらよいかと思えます。
- このような世論調査があるとは知りませんでした。市民の声をすくい上げるのにはよいことだと思います。これからも住みよい富士市であり続けるよう、よろしくお願いします。
- 市がいろいろな広聴活動をしていることをあまり知りません。公共施設へ出向き、何か話をするつもりもありません。でもこのようなアンケートがあれば、自分の意見を伝えることができます。育児が忙しくて余裕のない私には、このようなアンケートで考えて自分の意見を伝えられるのは、うれしいことです。
- 時々のアンケート調査は、大変よいことだと思います。
- 中央図書館・広報広聴への意見を私たちは記入するのみですが、まとめることは手もかかることです。富士市がよりよくなるために、職員の人たちにも骨折りいただき、ありがたく思っています。何だか、気持ちよくこのアンケートに記入させてもらいました。ありがとうございました。
- 自分もそうですが若い人たちの中には、そういった活動や冊子があることすら知らない人も多いと思います。そのような人たちにもっと知ってもらうように、アンケートや調査の機会をふやしてみてもどうでしょうか。自分は今回の調査で、今まで知らなかったことを初めて知る機会が持てました。
- 市の職員は税金で仕事をしているのに、市民に対しての応じ方が横柄である。こういう市民の不満を、もう少しアンケートをとったらよいと思います。

その他

- 先日、女性ネットワーク・富士から防犯について講義を受け、コミュニティチャンネルを多くの市民が見ていると改めて感じました。3チャンネルは、多くの市民が見ていると思いました。
- もう年だから、あまり積極的にどうこうしようと思わない。足が悪くて、家でテレビを見るとわかることもある。富士ニュースを見ているので。
- 回覧板という強力な連絡網で、市政・行事などはほぼ的確に把握できると思われるが、生き生きとした市の動きというのは、文字だけでは印象が薄い。10年前富士市に転入したとき、最も富士市を教えてくれたのはケーブルテレビでした。印刷物は、まず老眼鏡をかけ「読む」という能動的な行為なのに対して、テレビの映像は受動的であり、安易に楽しく知ることができる。今現在、経済的理由からケーブルテレビを解約してしまったが、市営のテレビ局などあったらいいのと思います。また、少子化・高齢化などで独居老人が増加すると思いますが(自分も子どもがいないのでなる予定)、そういう家庭には、優先的にケーブルテレビやテレビ電話などが設けられ、映像による生の人間が見られる広報・広聴が必要だと思います。
- ケーブルテレビの3チャンネル、ふじ広報室を見えています。内容的にはよいと思うのですが、地域の行事や市の行事などの内容を放送したりすればもっとおもしろくなり、いろんな人に行事のことなどを知ってもらえると思う。15分では短いので、30分でもよいと思う。市のホームページで、昔の広報を見るのがちょっと見づらい。
- 行政が行っているからかもしれないが、広報のアピールができていない。よいことも、一部のみにしか伝わっていないことが多い。もっともっと市民と行政の間に入り、大きなパイプをつくってほしいと思います。私は、2年くらい前まで横浜に住んでいました。そこでは行政の情報は、テレビで行っていました。もちろん、市長もよく出ています。富士市でもCMなどを行い、そのお金で番組をつくり、小さなテレビ局をつくったらどうでしょうか。インターネットでは不十分だと思います。老若男女問わず、情報を得られるのはテレビです。
- 私自身の反省ですが、自分の住んでいる富士市についてあまりにも知らないもので、恥ずかしく思いました。情報社会に住んでいるはずなのに、利己的な部分が多くて堅実な情報に目や耳を向けていないことを反省します。私のような者でも、もっと富士市に関心を持てますように、皆さんの努力と協力をお願いします。
- 役所に出かけて行って、昼休みの時間帯の対応が悪い。
- 市の活動がどういったものなのかわかりませんが、一番身近な市役所にいる人は淡々としているというか、無愛想の人が多いいと思います。こういったアンケートをして頑張っても、1人の態度や行動で、市が遠くなると思っています。
- 市議の活動(個人的)や議会のないときは、どんな活動をしているのか。公約が守られているのかを知りたいです。議会で本気になっている人が、少ないような気がしました。
- 選挙のときに、本当にわからなく迷ってしまいます。新しい候補者は別にしても、私たちの選んだ人が真面目にやってくれているのか、本当のところわかりません。でも、少しは知りたいです。その人のやったことや意見など、知りたいというのは無理なところもあると思いますので、議会への出席状況・出張などは、私たちが知り得てもよいと思われれます。うわさで聞きましたが、最初だけ出てきてあまり出席しない議員がいるとのこと。本当でないことを願います。
- 今、問題になっている公務員の通勤手当をしっかりと調べてほしい。このように、一般の人からの疑問をぶつけられる場所が欲しい。一般市民として公務員のずるさはわかっているが、一つ一つ解決して、すっきりとした気持ちで税金を払いたいから。
- 最近ロゼシアターは、文化系のイベントだけではなく、10~30代が楽しめる若いアーティストが来るようになってよかった。これからも、もっとふやしてください。富士市は紙の街としてアピールしているが、市民にはピンとこない。もっと富士山をアピールした方がよい。冬ごろ、特に大みそかなど、カウントダウンの大きなイベントがほかにもあってもいいと思う。よその市の人や、そのイベントを見たくなるような何かがない。富士まつりなど。
- 市役所のみどりの課にお願いがあります。広見公園のバラは見事で、この時期は多くの人を訪れています。バラの管理も行き届いていて自慢の公園です。そこで一つの提案ですが、どうせバラの花が咲ききってしまうと切って整えるのですから、その作業の曜日や時間を指定して広報ふじで知らせていただき、訪れている人に分けてあげればよいと思うのです。バラの花が汚くこぼれ落ちるほんの少し前のバラの花を、一輪でももらえたらうれしい人はたくさんいると思うのです。市民の花バラが咲き誇る広見公園は大好きな公園です。中央

公園での行事も、広報ふじで知らせてください。

- ある一部の人们にしか、知られていないことがあるようですが。例えば、市でお金を借りられるとか、うわさですが本当なのかわかりません。
- 何の問題にしても毎回感じるのは、担当の人が自分たちの問題ととらえていないことだと思います。忙しいことはよくわかりますが、一般企業の比ではありません。市民の税金を使っていることという意識が高まれば、工夫が生まれ市民に密接になると思います。県外・国外者が富士には大勢住んでいます。外から見た富士市も興味深いと思います。
- 紙の街ではあるけれど、資源の節約・公費節約・環境問題・地球温暖化など考えてほしい。
- 一主婦として一番気になっていることは、ごみの出し方の問題です。生ごみの提出日・不燃物・缶・埋め立てなどごみ箱には、ところ狭しと守っていただきたいことを張ってあります。それなのに、どうしてこんなことが守れないのでしょうか。掃除当番をやってみて、規則を守らなければほかの人は、いかに気分が悪い思いをしているか。守らない人は、ごく一部の人の人だと思えますが、その人のために大勢の人が迷惑しています。書いたものを読まなかったら、ときどき同報無線で放送してもらいたいです。
- 富士市を住みよく安全な街にしてください。
- あまり景気がよくない最近です。私たちの税金をむだのないよう、しっかり使っていただきたいと思えます。不要な研修旅行など要らないと思えます。民間会社は、自分たちの積み立てで慰安旅行も行っているのですから・・・。
- 税金を安く。高いなら个税と考え、大切に使用してください。むだが多過ぎる。
- 税金のむだ遣いはもうやめましょう。市民に返すぐらいの行事をしましょう。
- 娘が障害を持って生まれたため、今まで他人ごとであった福祉情報に、目を向ける機会がふえました。そして感じたことは、自分たちで動かなければ、市からは何の情報も得られないということです。福祉施設への通園・手帳の発行などなど、情報はすべて同じ障害を持つお子さんをお持ちの先輩からいただきました。皆さん、口をそろえて言っていたことは、「行政は、こちらから働きかけなければ何も教えてくれない。当てにならない。」ということです。
- 先般、市役所に行きましたが、とても親切で心温まる思いがしました(多少、個人差はありますが)。職員も大勢の市民に接するので大変でしょうが、頑張ってください。
- インターネットだけでなく、一般にも広報活動の様子がわかればと思います。
- 市民の利益を第一に考え、お仕事頑張ってください。むだ・無意味なお金の使い方は、しないでほしいです。市民は、職員の皆さんを信用しております。市からも積極的に情報を公開して、明るい市役所になってほしいと思っております。
- これからも、市政についてよろしく願います。
- 住みやすい富士市にしてください。よろしく願います。
- がんばってください。